



## ダイスサングラス取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。

この製品を正しく安全に使い、機能を充分生かしていただくため、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。保護者の皆様へ：お子様がご使用になる場合には、この説明書をよくお読みになり、お子様がご理解できるようにご説明ください。

この説明書は、読み終わった後も大切に保管してください。

### 絵表示について

この取扱説明書の絵表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

- ⚠ 警告：記載事項をお守りいただかないと、死亡または重傷を負う可能性のあることを示しています。
- ⚠ 注意：記載事項をお守りいただかないと、軽傷またはサングラス破損の可能性のあることを示しています。
- ⊘ : してはいけない禁止行為を示しています。
- Ⓛ : 守っていただくべき義務行為を示しています。

### ⚠ 警告

- ⊘ このサングラスは、太陽光の有害な光線をカットし、ホコリや風などを防ぐように作られていますが、溶接などの遮光レンズとして使用しないでください。また強い衝撃などから目を保護するものではありません。
- Ⓛ レンズのカラーによって、朝や夕方、トンネル内では視界が悪くなる場合があります。特に自動車、バイク等の運転時でのご使用にはご注意ください。
- Ⓛ ご使用前には、必ずサングラスを点検してください。老朽化が顕著な場合や、レンズやフレームに亀裂、破損など明らかに傷んでいる場合は、ご使用にならないでください。レンズの細かなスリ傷は、視界の妨げとなる可能性もあります。
- ⊘ 遮光効果のあるサイドカバー等を装着して車の運転等は行わないでください。

### ご使用前に

#### 偏光レンズをご使用される前に

- Ⓛ 自動車の運転に偏光サングラスを使用する場合、1987年9月以前に生産された日本車は、フロントガラス等に熱強化ガラスを使用している事があります。その場合、フロントガラス等に虹色の熱処理の模様が見え、視界の妨げになることがありますので、ご注意ください。現在は条例によりフロントガラスには、合わせガラスの使用が定められているため、このような模様が見えることはありません。
- Ⓛ 偏光サングラスを掛けて偏光板を使用した液晶表示画面（デジタル腕時計、携帯電話、乗り物の計器、パソコン、テレビ等）を見ると、機種によっては見る角度により、暗くなったり、歪んで見える事がありますのでご注意ください。

### 使用上の⚠注意

- Ⓛ サングラスは鼻、こめかみ、耳の3点に均等にかかるよう装着してください。
- Ⓛ 片手で乱暴に取り扱くと、枠（フレーム）、レンズとつる（テンプル）にムリが生じますので、サングラスは必ず両手でかけはずしてください。
- Ⓛ レンズの濃淡にかかわらず、太陽や強い光を直視しないでください。眼を傷める可能性があります。
- Ⓛ くもり止めレンズで、使用中にくもり止め効果が低下しはじめることがあります。これはレンズの水分吸収量が飽和になったため、レンズに含んでいる水分を常温（室温）で十分乾燥させれば、再び機能は回復します。
- ⊘ ミラー処理されているレンズの表面には、くもり止め液は塗らないでください。ミラーが剥がれるおそれがあります。
- ⊘ サングラスは暖房器具の近くや、自動車内等温度の高い所（50℃以上）には、置かないでください。フレームやレンズの変形、変質、レンズ脱落の原因になります。
- ⊘ サングラスには有機溶剤（シンナー、アルコール等）や、接着剤を使用しないでください。変形や変質、破損の原因になります。

### お手入れ、保管方法

- Ⓛ 偏光レンズの場合、レンズの間に挟みこまれている偏光膜は大変デリケートに出来ております。長時間、水の中や超音波洗浄機の中に放置すると偏光膜に水が浸入し、レンズ周辺が変色、劣化、剥離する恐れがありますので、レンズ周辺に付着した水分はすぐに拭き取るようにしてください。
- Ⓛ レンズに水、海水が付いた状態で放置すると、水あか、塩分などが残り、汚れの原因になります。また、ミラーコーティング、マルチ（AR）コーティングの場合はコーティングの剥離の原因になります。また、レンズに皮脂や化粧品などの汚れが付着したまま放置した場合、まれにクラックや割れの原因になることがあります。使用后、レンズが汚れた場合には、水道水でレンズ面を指の腹でなでるように軽く洗い流し、その後水分を柔らかい布で押し取るように拭き、自然乾燥させてください。そして湿気の少ない直射日光の当たらない場所に保管してください。
- Ⓛ サングラスを保管する場合には、付属の布袋またはケースに入れて保管してください。ケースに入れて保管する場合は、サングラスに圧力がかからないように保管してください。圧力がかかったまま保管すると、変形することがあります。保管中や輸送中に硬いもの（例えば金属、バックル、ファスナーまたは角のあるプラスチック等）が直接触れないようにご注意ください。キズや変形の原因になります。

### 修理・改造の⚠注意

- ⊘ ご自身による修理、改造は安全上の問題がありますのでおやめください。

※ 製品に関するお問い合わせ

**YK 山本光学株式会社**

〒577-0056 大阪府東大阪市長堂3-25-8

TEL: 06-6783-1103 FAX: 06-6789-0058

